

# 令和7年度 第2学年 授業改善推進プラン

台東区立田原小学校

## 1 児童の状況及び実態を踏まえた課題

国 語 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙を豊かにすること。</li> <li>・既習の漢字を正しく読んだり、書いたりすること。</li> <li>・文章から内容を正しく読み取ること。</li> <li>・内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。</li> <li>・自分の考えを人に伝わるように表現すること。</li> </ul>
算 数 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り上がり繰り下がりの計算、かさや長さの単位換算を正確に行うこと。</li> <li>・学習したことを応用して問題を解決すること。</li> <li>・かさや長さの量感を正しく身に付けること。</li> </ul>

## 2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙を豊かにする。</li> <li>・正しく漢字を読み書きする力</li> <li>・文章を正確に読み取る力</li> <li>・根拠（理由）を添えて文を書く力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回程度の「読み聞かせ」や読書タイムの活用で、様々な言葉や表現に触れることができる機会を設ける。</li> <li>・新出漢字を学習する際に、漢字の読み方、使い方、筆順等を丁寧に確認する。</li> <li>・毎日の家庭学習や漢字テストで繰り返し練習し定着を図る。ドリルプラネットを活用し知識の定着を図る。</li> <li>・学習した漢字は、テストや日記、観察カード等の記述の際も意識して使用するよう指導する。</li> <li>・文学的文章の学習では、登場人物の心情が表れている描写を見つけたり、気持ちを想像して吹き出しに書いたりする。</li> <li>・説明的な文章の学習では、文章の構成・キーワード・段落の役割などを捉え、教科書にサイドラインを引いたり、文章構成表にまとめたりする。</li> <li>・読み取りの観点を示し、自分で内容の大事なところを見付けられるようにする。</li> <li>・事実を述べている段落と意見を述べている段落の区別ができるような課題を解く。意見の根拠が書かれているところにサイドラインを引く。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを相手に伝わる言葉や表現で伝える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読んで分かったこと、初めて知ったことなどの感想を交流する。</li> <li>・交流した後に、自分の考えをノートにまとめる。</li> <li>・根拠となる文章を書き写し、そのことに対する自分の感想を2段落構成で書く学習をする。</li> <li>・ペアトークやグループトークでお互いの考えを交流する時間を学習单元の中で随時取り入れる。</li> <li>・教科書单元以外に同音異義語などで意味の違いを考えられる学習を取り入れる。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">算 数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加法減法の計算や単位換算を正確にできる力</li> <li>・文章問題を自力で解くことができる思考力・判断力・表現力</li> <li>・量感を正確に使う力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加法減法の計算の際は、計算の手順を声に出し、計算をすることで、繰り上がり繰り下がり計算の手順の定着を図る。</li> <li>・問題文を声に出して読み、必要な箇所（分かっていること、求めること、答えの単位等）に下線を引く。</li> <li>・学習の週末に、ドリルプラネットやeライブラリを活用し、個別課題に応じた学習を行う。</li> <li>・自分の考えをノートやタブレットの発表ノートに書いて整理することで、思考力を伸ばす。</li> <li>・お互いの考えを発表し合うことで、考えを広めたり深めたりする。</li> <li>・単元の終わりには身近な生活で生かせる場面を想起させるようなし振り返りを行い、学習した内容を日常的に使えるようにする。</li> <li>・牛乳は200 mL、2 dL等、身の回りにある物の長さやかさを意識した声掛けを日常的に行う。</li> <li>・長さ、かさ、重さ、時間等、单元が終わると次に学習するまで時間がかかる学習については、プリントやタブレットを使い、朝自習や家庭学習で計画的に復習し、定着を確実にする。</li> </ul>